

## 事前評価報告書

第1回評価委員会

平成30年8月21日(火)

研究種別	重点化研究(候補)	
研究課題名	ICTを利用した施設土耕トマトの高収益栽培技術の確立	
研究期間	平成31年度 ~ 平成33年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.2
2	研究内容の新規性	4.0
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.0
	総合評点	3.8
[コメント] 農業生産へのICTの導入は、今後の農業生産人口の減少や生産農家の高齢化対策として必須のものになると考えられ、研究の必要性は高い。そのために、県の主力農産物であるトマトを対象として基礎データを集積し、それを利用して生産農家への情報提供をする研究計画には妥当性がある。ICTを活用した農業生産体系の構築のために、是非とも実施すべき課題であると思われる。		

## 事前評価報告書

第1回評価委員会

平成30年8月21日(火)

研究種別	一般枠	
研究課題名	露地ナスの新たな省力的栽培法の開発	
研究期間	平成31年度 ~ 平成33年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.8
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.6
4	研究予算、研究体制の妥当性	2.8
	総合評点	3.6
[コメント] 農業生産人口の減少や生産農家の高齢化を考えると、実施の必要度の高い課題である。県の主力農産物であるナスを対象として、県で開発した農業技術を改良することで省力化に向けた新たな技術開発を行うところに新規性が見出される。特に、高齢者や新規就農者への技術提供が期待できることから、是非とも実施すべき課題であると考えられる。		